

町自慢の桃をお届け JAふくしま未来が園児に贈呈

JAふくしま未来は7月16日、地元で生産された桃を子どもたちに味わってもらおうと、醸芳幼稚園およびこおり青空こども園の園児らに町自慢の桃をプレゼントしました。当日は、JAふくしま未来桑折営農センター長の遠藤正崇さんらが醸芳幼稚園を訪れ、

ふっくらと鮮やかなピンクに色づいた「ふくあかり」12箱を園児に贈呈。遠藤センター長は「農家の皆さんが一生懸命甘い桃を作ったので、皆さん家族と一緒に食べてください」と話しました。園児らは、手作りの桃の飾り物をお礼に贈り、感謝の気持ちを伝えました。



▲家に持ち帰る桃を楽しそうに選び、先生に取ってもらう園児たち

立ち直り支える地域を目指し啓発 第76回「社会を明るくする運動」

犯罪や非行の少ない安全・安心な地域社会を築く取り組みを進めるため、7月を「社会を明るくする運動」強化月間・再犯防止啓発月間としています。強化月間に合わせて、社会を明るくする運動推進委員会および協力団体による街頭啓発活動が7月7日、桑折駅を

はじめ、醸芳中学校やブイチェーン桑折店、ロシナンテ桑折店で行われました。当日は、のぼり旗を掲げながら、通勤・通学者や買い物客に啓発用ティッシュを配布し「犯罪や非行防止、立ち直りを支える地域社会をみんなで築こう」と呼びかけを行いました。



▲ブイチェーン桑折店での啓発活動の様子

広 告